

## 特別シンポジウム Special Symposia

3月28日（日）9:45～12:00 C-A会場 コンベンションセンター コンベンションホール

### 特別シンポジウムCS01

理事会企画シンポジウム「薬物乱用防止について薬学研究者・薬剤師が知っておくべきこと」

オーガナイザー：山田 清文、筒井 啓徳

9:45～9:55

CS01-1

日本薬学会の社会貢献

日本薬学会会頭 松木 則夫

9:55～10:25

CS01-2

薬物乱用の現状とその防止対策

厚生労働省 國枝 卓

10:25～10:55

CS01-3

薬物乱用防止における学校薬剤師の役割

岡山県薬剤師会 堀部 徹

10:55～11:25

CS01-4

大麻の危険性

福岡大薬 藤原 道弘

11:25～11:55

CS01-5

医療用麻薬によるがん疼痛治療と精神依存

星薬大 鈴木 勉

11:55～12:00

まとめ

名大病院薬 山田 清文

3月28日（日）16:00～18:00 C-A会場 コンベンションセンター コンベンションホール

### 特別シンポジウムCS02

薬業連携シンポジウム「6年制薬剤師教育に対する考え、取り組み、期待」

オーガナイザー：五味田 裕、加藤 圭一郎

16:00～16:05

司会者のことば

16:05～16:35

CS02-1

日本薬剤師会とオール薬剤師の立場からの6年制薬剤師教育への取り組みと期待

日本薬剤師会 児玉 孝

16:35～17:05

CS02-2

6年制薬剤師教育に対する病院薬剤師としての考え、取り組み、期待

日本病院薬剤師会 堀内 龍也

17:05～17:35

CS02-3

6年制薬剤師教育への期待

前参議院議員 藤井 基之

17:35～18:00

総合討論と司会者まとめ

---

3月30日（火）9:30～11:45 C-C会場 コンベンションセンター レセプションホール

特別シンポジウム CS03

日本薬学会製薬工業協会企画シンポジウム

「創薬における幹細胞研究の動向—iPS細胞の企業利用を中心として—」

オーガナイザー：座間 富明、大谷 章雄

---

9:30～9:40

製薬協のシンポジウムを企画して

製薬協研究開発委員会専門委員長 座間 富明

9:40～10:20

CS03-1

製薬企業としてのiPS細胞研究

武田薬品工業医薬研究本部開拓研 中西 淳

10:20～11:00

CS03-2

ヒトiPS細胞を用いた新規in vitro毒性評価系の構築に向けた基盤整備の現状

医薬基盤研/阪大院薬 水口 裕之

11:00～11:40

CS03-3

霊長類多能性幹細胞由来拍動心筋細胞を用いた薬剤誘発性QT延長試験

リプロセル 浅井 康行

11:40～11:45

終わりに

製薬協研究振興部長 岡崎 靖

---

3月30日（火）12:00～16:40 C-E会場 コンベンションセンター イベントホールB

特別シンポジウム CS04

高校生シンポジウム（高校生による研究発表会）及びそれに関連した講演

オーガナイザー：勝 孝、有元 佐賀恵、加来田 博貴

---

12:00～13:00

L24

「研究」は本当に面白いのか？自分の生きる道を考えよう

岡山大院医歯薬 早津 彦哉

13:15～13:20

開会の挨拶

岡山大院医歯薬 勝 孝

13:20～13:30

CS04-1

先人達が努力の果てに手にしたもの

～世界初の人工医薬品アセチルサリチル酸を完成させるまでの努力と苦労

岡山県立岡山操山高等学校 ○久永 なつみ、○西山 渚紗

13:30～13:40

CS04-2

薬を飲むときの最適条件の探索II

愛媛県立宇和島東高等学校 ○島津 壽子、○佐竹 玲奈、樋口 香菜里、濱田 哲平

13:40～13:50

CS04-3

薬と飲み物の関係

高松第一高等学校 ○川滝 成美、童銅 はる香、松岡 沙穂、中野 百恵

13:50～14:00

CS04-4

身近な生物に対する市販薬の影響

鳥取県立米子東高等学校 板持 雅知、○大樂 美奈、村上 真央

14:00～14:10

CS04-5

ビタミンCの定量

香川県立丸亀高等学校 ○香川 真貴子、○笠井 昭良、山地 康之、大矢根 隆志、

中野 剛志、穴田 千晶、藤川 諒太、氏家 弘瑛、宮田 和明

- 14:10～14:20  
休憩
- 14:20～14:30  
CS04-6  
金属イオンの抗菌作用 ～抗菌作用の規則性とメカニズム  
岡山県立岡山一宮高等学校 ○池上 真子、○斎藤 貴子、○疋田 麻梨亜
- 14:30～14:40  
CS04-7  
製鉄スラグによる生命の活性化について  
広島大学附属福山中・高等学校 ○滝 貴大、林 信希、水田 舜、守屋 真我、横田 健
- 14:40～14:50  
CS04-8  
伝導性高分子を利用した置換基定数の測定  
鳥取県立鳥取東高等学校 ○坂本 直柔、木下 貴文、竹内 成美、○丸山 莉央
- 14:50～15:00  
CS04-9  
実験室内でのオオイタサンショウウオの繁殖方法の確立を目指して  
清心女子高等学校 ○鈴木 美有紀、三宅 舞
- 15:00～15:10  
CS04-10  
生ごみでバイオ燃料はつくれないか  
島根県立松江東高等学校 ○青戸 彩夏、○田中 優子
- 15:10～15:20  
休憩
- 15:20～15:30  
CS04-11  
校庭のクスノキなどから分離した物質とその性質について  
岡山県立岡山朝日高等学校 ○伊藤 綾、○堀内 雄貴、○山田 聖子、○須田 智江、  
藤岡 竜矢、大杉 明日香、只平 望、飛松 秀、妹尾 圭、  
大黒 智史、藤本 聡子、羽井佐 郁恵
- 15:30～15:40  
CS04-12  
植物と糖  
高知県立高知小津高等学校 ○斧 紗耶佳、○瀧石 朋大、○下村 和輝、○野本 裕也
- 15:40～15:50  
CS04-13  
納豆に含まれる $\gamma$ -ポリグルタミン酸を利用した水質浄化  
徳島県立脇町高等学校 ○岸 拓磨、○前田 瑤介、○尾花 佳彦、○中山 一秀
- 15:50～16:00  
CS04-14  
ねぇ知ってる？～お茶の消臭効果  
山口県立山口高等学校 ○末永 詩織、田坂 愛希子、前原 有紀子、  
本永 加奈美、○安田 汐織
- 16:00～16:10  
休憩
- 16:10～16:30  
大学研究者からのメッセージ  
「見えないものが見えるようにする技術：  
生命現象を分子イメージングで可視化、創薬に革命が起こる？ 薬学からの発信」  
岡山大院医歯薬／理化学研 榎本 秀一
- 16:30～16:40  
総評（参加賞授与）  
岡山大院医歯薬 勝 孝

## スポンサードシンポジウム Sponsored Symposia

3月29日（月）9:00～11:30 C-L会場 グランヴィア4F フェニックススイースト

### スポンサードシンポジウム SS01

味覚と健康：食品中の呈味成分の栄養・生理学

Taste and Health: Nutritional and Physiological Significances of Taste Substances in Daily Foods

オーガナイザー：森山 芳則、鳥居 邦夫

9:00～9:25

SS01-1

味覚の生理学：甘味うま味センサーによる生体エネルギー調節

九大院歯 二ノ宮 裕三

9:25～9:50

SS01-2

味嗅覚及び内臓感覚を介した自律神経機能調節

新潟大医 新島 旭

9:50～10:15

SS01-3

グルタミン酸とアスパラギン酸の化学伝達を司る小胞型トランスポーターの構造と機能に関する研究

岡山大院医歯薬 森山 芳則

10:15～10:40

SS01-4

味覚による咀嚼・嚥下調節

新潟大院医歯 山村 健介

10:40～11:05

SS01-5

うま味刺激による唾液分泌反射を応用した味覚障害の治療について

東北大院歯 笹野 高嗣

11:05～11:30

SS01-6

味覚および内臓感覚と脳機能変化

味の素ライフサイエンス研 鳥居 邦夫

3月29日（月）13:30～16:30 T-B会場 津島 A21

### スポンサードシンポジウム SS02

有機化学者のための放射光利用最前線—微小単結晶・粉末試料結晶構造解析—

(SPring-8利用推進協議会 第7回有機・粉末結晶構造解析研究会)

オーガナイザー：三浦 圭子、柳 和則

13:30～13:40

研究会代表挨拶

いばらき量子ビーム研究セ 大橋 裕二

13:40～14:10

SS02-1

SPring-8 BL38B1 の紹介

高輝度光科学研究セ 馬場 清喜

14:10～14:40

SS02-2

SPring-8利用結果報告—低分子微小結晶の精密解析—

徳島文理大香川薬 山口 健太郎

14:40～14:50

休憩

14:50～15:20

SS02-3

SPring-8 BL19B2粉末X線回折の紹介

高輝度光科学研究セ 大坂 恵一

15:20～15:50

SS02-4

SPring-8利用の医薬品粉末結晶解析例の紹介

東邦大薬 寺田 勝英

15:50～16:20	SS02-5	放射光を用いた粉末X線回折法による錠剤中の微量の結晶多形の測定	田辺三菱製薬 増田 勝彦
16:20～16:30		総括	高輝度光科学研究セ 山川 晃

3月30日（火）13:30～16:30 T-A会場 津島 50周年記念館

スポンサードシンポジウム SS03

最新理論化学計算の現状と創薬化学との接点  
Current Trends of Theoretical and Medicinal Chemistry

オーガナイザー：宮地 弘幸、常盤 広明

13:30～13:35		はじめに	立教大理 常盤 広明
13:35～14:20	SS03-1	ONIOM法を用いたタンパク質内での化学反応および有機金属触媒反応の理論研究	京大福井謙一記念研究セ 諸熊 奎治
14:20～14:50	SS03-2	タンパク質ーリガンド複合体の構造モデリングとフラグメント分子軌道法による結合エネルギー計算	京大院薬 北浦 和夫
14:50～15:20	SS03-3	分子構造を基盤としたシグナル伝達と転写制御	横浜市大医 緒方 一博
15:20～15:50	SS03-4	核内受容体リガンドの論理的創製を目指して；PPARを例に	岡山大院医歯薬 宮地 弘幸
15:50～16:10	SS03-5	創薬標的としての核内受容体とプロテアーゼ	昭和薬大 山本 恵子
16:10～16:30	SS03-6	分子シミュレーションによる蛋白質の分子認識機構とドラッグデザインへの可能性	理研基幹研 杉田 有治

# 130年会記念融合型シンポジウム Memorial Symposia of the 130th Annual Meeting

3月28日(日) 13:30~15:30 C-J会場 グランヴィア4F フェニックスウェスト

## 130年会記念融合型シンポジウム MS01

体内時計を利用した創薬から治療戦略まで

Drug Discovery and Development of Chronotherapy Based on the Biological Clock

オーガナイザー：柴田 重信、守屋 孝洋

13:30~13:32

MS01-1

オーガナイザー挨拶・主旨説明

早稲田大院理工 柴田 重信

13:32~13:56

MS01-2

糖尿病の時間治療

自治医大臨床薬理 安藤 仁

13:56~14:20

MS01-3

Ramelteon：睡眠障害治療薬としての新規メラトニン受容体作動薬

武田薬品医薬研究本部 加藤 浩紀

14:20~14:42

MS01-4

神経幹細胞の概日リズムと時間治療への応用

東大院薬 守屋 孝洋

14:42~15:06

MS01-5

時計遺伝子を基盤としたメタボリックシンドローム予防ならびに治療戦略

日本大薬 榛葉 繁紀

15:06~15:30

MS01-6

癌の時間治療と今後の展望

九大院薬 大戸 茂弘

3月28日(日) 15:30~17:30 C-J会場 グランヴィア4F フェニックスウェスト

## 130年会記念融合型シンポジウム MS02

グリア創薬の最前線と可能性

The Frontline and Possibility of New Drug Development Targeting Glial Functions

オーガナイザー：井上 和秀

15:30~15:35

オーガナイザー挨拶

九大院薬 井上 和秀

15:35~15:57

MS02-1

ミクログリアを介した新たな創薬の可能性  
—ミクログリアと神経新生・グリア新生との関連

国立医薬品食品衛生研 佐藤 薫

15:57~16:19

MS02-2

ミクログリアのリソソーム・ミトコンドリア系を標的としたアンチ・エイジング薬開発の可能性

九大院薬 中西 博

16:19~16:41

MS02-3

グリア細胞を標的にした新しい鎮痛薬の可能性

九大院薬 津田 誠

16:41~17:03

MS02-4

モノカルボン酸トランスポーターを介したアストロサイトによるシナプス伝達の維持

東京慈恵会医大総合医科学研究セ 加藤 総夫

17:03～17:25	MS02-5	抗うつ薬の有望な標的としてのアストロサイト	山梨大医薬理 小泉 修一
17:25～17:30		総括	九大院薬 井上 和秀

3月29日（月）9:00～12:00 C-B会場 コンベンションセンター コンベンションホール西

130年会記念融合型シンポジウム MS03

薬の安全、安心を創り育てる

Patient Consent and the Drug Safety of Investigational Products and Approved Drugs

オーガナイザー：平山 佳伸、西村(鈴木) 多美子

9:00～9:05		趣旨説明	就実大薬 五味田 裕
9:05～9:35	MS03-1	薬剤師が育てる薬の安心・安全	岡山大病院薬 西原 茂樹
9:35～10:05	MS03-2	医薬品承認審査から患者の安心へ	就実大薬 西村(鈴木) 多美子
10:05～10:35	MS03-3	医薬品開発メーカーへの要望と期待	医薬品医療機器総合機構 平山 佳伸
10:35～11:05	MS03-4	薬の安全－患者・市民の立場から	日経BP社 北澤 京子
11:05～11:45	MS03-5	医薬品製造販売承認後の安全な適正使用	千葉大院薬 黒川 達夫
11:45～12:00		総合討論	

3月29日（月）9:20～17:00 C-E会場 コンベンションセンター イベントホールB

130年会記念融合型シンポジウム MS04

物理系薬学部会特別シンポジウム：生体分子の機能からイメージングまで

Special Symposium “Biofunction and Molecular Imaging on Biomolecules”

オーガナイザー：佐治 英郎、榎本 秀一

9:20～9:30		はじめに	京大院薬 佐治 英郎
9:30～10:10	MS04-1 (SL02)	生命と元素－金属創薬へのチャレンジ	鈴鹿医療大薬 桜井 弘
10:10～10:50	MS04-2 (SL03)	新たな磁気共鳴画像化法の開発と酸化ストレス疾患の可視化	九大院薬 内海 英雄

10:50～11:00	休憩	
11:00～12:00 MS04-3 (SL04)	亜鉛と免疫・炎症・アレルギー：亜鉛はシグナル伝達因子である	阪大院医・理研RCAI 平野 俊夫
12:00～12:15	休憩	
12:15～13:15 MS04-4 (L12)	分子イメージング活用創薬	大阪市大医／理研CMIS 渡辺 恭良
13:15～13:30	休憩	
13:30～14:30 MS04-5 (SL05)	PET in Drug Development	Karolinska Institutet Christer HALLDIN
14:30～15:10 MS04-6 (SL06)	生体分子イメージング：医薬品開発に資する新しい手法	京大院薬 佐治 英郎
15:10～15:20	休憩	
15:20～16:10 MS04-7 (SL07)	MRIを用いる分子・細胞イメージング	滋賀医大医 犬伏 俊郎
16:10～17:00 MS04-8 (SL08)	MR Imaging at High Magnetic Fields — From MR Microscopy to Clinical Application: A Challenge to New Biological Information	Univ. Texas Med. Sch. Masaya TAKAHASHI

3月29日（月）9:00～17:30 C-M会場 全日空ホテル 曲水

130年会記念融合型シンポジウム MS05

トランスポーター：異物解毒と栄養素供給・利用との境界

Transporter: Boundary of the Membrane Transports Xenobiotics and Nutrients

オーガナイザー：楠原 洋之、安西 尚彦

9:00～9:30 MS05-1	有機酸トランスポーター SLC22の新たな役割	杏林大医 安西 尚彦
9:30～10:00 MS05-2	カルニチン／有機カチオントランスポーター OCTNsによる栄養物吸収と異物排出	金沢大院薬 加藤 将夫
10:00～10:30 MS05-3	葉酸吸収におけるPCFT/SLC46A1の役割	名市大薬院 井上 勝央
10:30～11:00 MS05-4	葉酸吸収におけるMRP3/ABCC3の役割	東大院薬 楠原 洋之
11:00～11:10	休憩	
11:10～12:00 MS05-5 (SL09)	薬物トランスポータ研究のあゆみ：From Bench to Bedside	京大医病院 乾 賢一

12:00～13:30 MS05-6 (L16)	トランスポーター研究：辿ってきた道とこれから歩む道	阪大院医 金井 好克
13:30～14:00 MS05-7	アクアポリン7を介するグリセロール代謝とその破綻	阪大院医 前田 法一
14:00～14:30 MS05-8	脂質代謝とABCトランスポーター	京大院農 松尾 道憲
14:30～15:00 MS05-9	ナトリウム依存性リン酸トランスポーターと心血管疾患	徳島大院ヘルスバイオ 竹谷 豊
15:00～15:30 MS05-10	植物の必須及び有害ミネラルのトランスポーター	岡山大資源生物科学研 馬 建鋒
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:30 MS05-11 (SL10)	The Sodium/Iodide Symporter (NIS): An Unending Source of Surprises Albert Einstein College of Medicine Nancy CARRASCO	
16:30～16:40	休憩	
16:40～17:30 MS05-12 (SL11)	医薬品の探索・開発における薬物トランスポーター研究の重要性	東大院薬 杉山 雄一

3月29日（月）13:00～17:25 C-A会場 コンベンションセンター コンベンションホール東

130年会記念融合型シンポジウム MS06

脳の働きとその異常 —分子から行動まで—

Brain Function and Disorder — From Molecule To Behavior —

オーガナイザー：桐野 豊、井上 剛

13:00～13:05	オーガナイザー挨拶	徳島文理大香川薬 桐野 豊
13:05～13:55 MS06-1 (SL12)	Strange Things Happen in Small Spaces: How Synaptic Vesicles Fill with Neurotransmitter	UCSF Robert H. EDWARDS
13:55～14:45 MS06-2 (SL13)	細胞内カルシウムイオンの調節機構及び生理機能の解明 —その病態時の治療薬の開発をめざして—	理研BSI 御子柴 克彦
14:45～15:25 MS06-3 (SL14)	脊髄損傷後の機能回復機構	生理研 伊佐 正
15:25～16:05 MS06-4 (SL15)	マウス瞬目反射条件づけに見られる学習メカニズムの多重性	富山大院理工 川原 茂敬
16:05～16:45 MS06-5 (SL16)	カルシウムチャンネルと神経疾患	生理研 井本 敬二
16:45～17:25 MS06-6 (SL17)	神経回路における複雑な同期発火の発生メカニズム	東大院薬 池谷 裕二

---

3月29日（月）13:30～16:30 C-B会場 コンベンションセンター コンベンションホール西

130年会記念融合型シンポジウム MS07

創薬と臨床評価

Drug Discovery and Clinical Evaluation

オーガナイザー：五味田 裕

---

13:30～14:30

MS07-1  
(SL18)

Clinical Trial on DHEA in Elderly Women and DHEA or Testosterone in Elderly Men

Mayo Clinic K. Sreekumaran NAIR

14:30～15:30

MS07-2  
(SL19)

創薬育薬医療におけるサイエンスとアート

国際医福大院／大分大医創薬育薬医学 中野 重行

15:30～16:30

MS07-3  
(SL20)

痛み情報伝達におけるATP受容体の機能と創薬への展望

九大院薬 井上 和秀

---

3月29日（月）13:30～17:25 C-C会場 コンベンションセンター レセプションホール

130年会記念融合型シンポジウム MS08

創薬を進化・深化させる有機化学の力量

The Power of Organic Chemistry to Evolute and Deepen New Drug Development

オーガナイザー：宮地 弘幸、橋本 祐一

---

13:30～14:25

MS08-1  
(SL21)

シーズ創製のためのマルチテンプレート法とドラマタイプ法

東大分生研 橋本 祐一

14:25～15:20

MS08-2  
(SL22)

ノシル基の開発と天然物合成への応用

東大院薬 福山 透

15:35～16:30

MS08-3  
(SL23)

細胞を操る有機化合物

京大化研 上杉 志成

16:30～17:25

MS08-4  
(SL24)

最先端イメージング研究

東大院薬 長野 哲雄

---

3月29日（月）14:00～17:15 C-D会場 コンベンションセンター イベントホールA

130年会記念融合型シンポジウム MS09

薬物動態・安全性試験におけるサルの有用性：遺伝子からWhole bodyまで

The Usefulness of Monkeys in the Evaluation of Pharmacokinetics and Toxicity of Drug Candidates

オーガナイザー：成松 鎮雄、細川 正清、宇野 泰広

---

14:00～14:05

シンポジウムの趣旨説明

岡山大院医歯薬 成松 鎮雄

14:05～14:55

MS09-1  
(SL25)

霊長類の染色体進化とその生物学的意義

京大霊長類研 平井 啓久

14:55～15:00

休憩

15:00～15:20 MS09-2	実験用霊長類の種差・個体差について：ゲノム解析の視点から	医薬基盤研 長田 直樹
15:20～15:40 MS09-3	サル胚性幹細胞の肝細胞への分化と薬物代謝に関与するシトクロムP450のmRNA発現	名市大院薬 松永 民秀
15:40～16:00 MS09-4	カニクイザルにおけるチトクロームP450遺伝子の同定・解析	新日本科学 宇野 泰広
16:00～16:05	休憩	
16:05～16:25 MS09-5	サルおよびヒトカルボキシルエステラーゼの構造と機能の比較	千葉科学大薬 細川 正清
16:25～16:45 MS09-6	ヒトおよびカニクイザルのUGT酵素の機能解析	岡山大院医歯薬 埴岡 伸光
16:45～17:05 MS09-7	サルおよびヒトにおける薬物の肝・腎取込みに関与するトランスポーターの機能比較	東大院薬 前田 和哉
17:05～17:15	総括	

---

3月30日（火）9:30～14:30 C-D会場 コンベンションセンター イベントホールA

130年会記念融合型シンポジウムMS10  
分子標的治療の新たなる射程  
New Perspective on Molecular-Targeted Therapy

オーガナイザー：森 秀治、西堀 正洋

---

9:30～9:36 MS10-1	今なぜ「分子標的薬」なのか？ オーバービュー	岡山大院医歯薬 西堀 正洋
9:36～10:12 MS10-2	次世代抗体医薬による癌分子標的治療	協和発酵キリン 佐藤 光男
10:12～10:48 MS10-3	癌治療に於ける抗血管新生の可能性と抗VEGF抗体ベバシズマブ（アバスタチン）の開発	中外製薬 仁平 新一
10:48～11:24 MS10-4	TNF阻害薬がもたらした関節リウマチ治療のパラダイムシフト 愛知医大腎臓・リウマチ膠原病内科	山村 昌弘
11:24～12:00 MS10-5	治療分子標的としてのHMGB1と創薬	就実大薬 森 秀治
13:30～14:30 MS10-6 (SL27)	抗体医薬による血管疾患治療と創薬プラットフォーム構築	岡山大院医歯薬 西堀 正洋

## 一般シンポジウム Symposia

---

3月28日（日）10:00～12:00 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

### 一般シンポジウム S01

感染症治療を科学する

The Science of Therapy for Infectious Diseases

オーガナイザー：木津 純子、黒田 照夫

---

10:00～10:05

オーガナイザー挨拶

慶應大薬 木津 純子

10:05～10:30

S01-1

感染症治療において薬剤師に期待するもの

東北大院 賀来 満夫

10:30～10:55

S01-2

TDMに基づく抗菌薬の適正使用

同志社女大薬 森田 邦彦

10:55～11:20

S01-3

呼吸器感染症における抗菌薬の適正使用

川崎医大 宮下 修行

11:20～11:45

S01-4

安全性からみた抗菌薬

東京慈恵会医大 堀 誠治

11:45～12:00

質疑応答及び総括

---

3月28日（日）13:30～16:00 C-A会場 コンベンションセンター コンベンションホール

### 一般シンポジウム S02

薬学教育新制度～共用試験、第三者評価、薬剤師国家試験～

New System for Pharmacy Education: The Pharmaceutical Common Achievement Tests, the Third-party Evaluation of Pharmacy Education, and the National Examination for Pharmacist License

オーガナイザー：中村 明弘、入江 徹美

---

13:30～13:35

オーガナイザー主旨説明

昭和大 中村 明弘

13:35～13:45

S02-1

薬学共用試験の実施概要

武庫川女大 市川 厚

13:45～13:55

S02-2

CBTの実施状況

東京理大 宮崎 智

13:55～14:05

S02-3

OSCEの実施状況

福山大 吉富 博則

14:05～14:15

S02-4

第一回薬学共用試験の現状報告と将来展望

静岡県大 奥 直人

14:15～14:25	総合討論1	
14:25～14:40 S02-5	第三者評価の実施に向けて	城西大 白幡 晶
14:40～14:55 S02-6	第三者評価実施要綱について	昭和大 中村 明弘
14:55～15:15 S02-7	薬学における第三者評価に期待すること	大学基準協会 橋本 孝志
15:15～15:35 S02-8	新薬剤師国家試験の準備状況	帝京大 井上 圭三
15:35～15:40 S02-9	新薬剤師国家試験に対する期待	厚労省 山本 史
15:40～15:50	総合討論2	
15:50～15:55 S02-10	薬学教育新制度に対する期待と課題	文科省 吉田 博之
15:55～16:00	総括	熊本大 入江 徹美

---

3月28日（日）13:30～15:30 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

一般シンポジウム S03

薬剤師リカレント学習支援プログラム：薬剤師が地域医療をささえるために

Continuous Pharmaceutical Recurrent Education to Support Community Healthcare

オーガナイザー：藤井 聡、野口 博司、土屋 照雄

---

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	
		名市大院薬 藤井 聡
13:35～13:53 S03-1	薬剤師：多様化・専門化する活躍の場と期待	厚労省 山本 史
13:53～14:11 S03-2	これからの薬剤師に求められる生涯学習（継続的職能向上）	薬剤師認定制度認証機構 内山 充
14:11～14:29 S03-3	薬科大学附属薬局が主催する臨床薬学に特化した生涯教育	岐阜薬大 杉山 正
14:29～14:47 S03-4	地域医療を支え、薬剤師の意欲を高めるリカレント教育と大学の役割	静岡県大薬 賀川 義之
14:47～15:05 S03-5	地域医療の中で薬剤師に期待すること ―がん診療の立場から―	静岡県総合病院 高木 正和

15:05～15:23 S03-6	三公立大学連携による薬剤師生涯学習支援の試み 東海地区地域連携リカレント教育セ	鈴木 匡
15:23～15:30	総括	静岡県大薬 野口 博司 岐阜薬大 土屋 照雄

3月28日（日）15:30～18:00 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

一般シンポジウム S04

専門薬剤師介入による薬剤業務のアウトカム評価

Estimation of Outcome after Intervention of Pharmacy Specialist in Pharmaceutical Care Services

オーガナイザー：千堂 年昭、伊藤 善規

15:30～15:35	オーガナイザー挨拶	岡山大病院薬 千堂 年昭 岐阜大院薬 伊藤 善規
15:35～15:55 S04-1	NST活動の実践とアウトカム評価 ―NST薬剤師の目指すところは―	赤穂市民病院薬 室井 延之
15:55～16:15 S04-2	感染制御チームにおける薬剤師の役割とそのアウトカムの評価	長野赤十字病院薬 堀 勝幸
16:15～16:35 S04-3	精神科における薬学的介入のアウトカム	福岡大筑紫病院薬 神村 英利
16:35～16:40	休憩	
16:40～17:00 S04-4	がん化学療法への専門薬剤師の関与による診療効率の向上および安全対策の推進	岐阜大病院薬 飯原 大稔
17:00～17:20 S04-5	がん化学療法の病棟業務における専門薬剤師介入によるアウトカム	九大病院薬 三嶋 一登
17:20～17:40 S04-6	緩和ケアチームのアウトカム評価と今後の課題	岡山大病院薬 松永 尚
17:40～18:00	総括	

---

3月29日（月）9:00～12:00 C-C会場 コンベンションセンター レセプションホール

一般シンポジウム S05

DRUG RE-PROFILING 研究（エコファーマ） —既存薬の新しい薬効の発見—

DRUG RE-PROFILING (Eco-Pharma) —Identification of New Applications of Existing Medicines—

オーガナイザー：水島 徹、井上 和秀

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

熊本大院医薬 水島 徹

9:05～9:30

S05-1

DRUG RE-PROFILING 研究の現状と課題

熊本大院医薬 水島 徹

9:30～9:55

S05-2

ATP 受容体研究におけるエコファーマの実践

九大院薬 井上 和秀

9:55～10:20

S05-3

DRUG RE-PROFILING の実例と経験から得られた問題点

ノーベルファーマ 塩村 仁

10:20～10:45

S05-4

基礎ならびに臨床知見に基づくパクリタキセル過敏症予防薬としてのペミロラストの有用性

岐阜大病院薬 伊藤 善規

10:45～11:10

S05-5

NMDA 受容体拮抗薬の鎮痛補助薬および依存症治療薬としての有用性（エコファーマ）

星薬大 鈴木 勉

11:10～11:35

S05-6

GIRK チャネル阻害作用をもつ鎮咳薬の難治性脳疾患モデルにおける多彩な薬理作用

熊本大院医薬 高濱 和夫

11:35～12:00

S05-7

DRUG RE-PROFILING（既存薬の新しい薬効の発見）を考える

厚労省 井本 昌克

---

3月29日（月）9:00～12:00 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

一般シンポジウム S06

健康・医薬品情報を医療現場で活かす

Making the Best Use of Health/Pharmaceutical Information Medical Service

オーガナイザー：遠藤 浩良、宮内 洋一、小河 邦雄

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

日本薬学図書館協議会 遠藤 浩良

9:05～9:35

S06-1

健康・医療情報を読み解くために

京大院医 中山 健夫

9:35～10:05

S06-2

医薬品情報の立場から

東大院薬 澤田 康文

10:05～10:35

S06-3

薬剤師は病院においていかに患者の安全を確保するか

愛媛大病院薬 荒木 博陽

10:35～11:05 S06-4	国立国語研究所「病院の言葉を分かりやすくする提案」	別府大院文 吉岡 泰夫
11:05～11:35 S06-5	パスファインダーを利用した健康医療情報の提供と健康支援	愛知医大医学情報セ 市川 美智子
11:35～12:00	パネルディスカッション	

3月29日（月）14:00～16:00 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

一般シンポジウム S07

プライマリ・ケア薬剤師と薬学

Primary Care Pharmacist and Pharmacy

オーガナイザー：吉山 友二、飯塚 敏美

14:00～14:10 S07-1	プライマリ・ケアと薬学	北里大薬 吉山 友二
14:10～14:40 S07-2	地域医療ネットワークと薬剤師	国際医福大院 武藤 正樹
14:40～15:00 S07-3	プライマリ・ケア薬剤師に期待する	薬剤師認定制度認証機構 内山 充
15:00～15:20 S07-4	薬学のスキルを活用したOTC医薬品の提供	岐阜薬大 堀内 正
15:20～15:40 S07-5	プライマリ・ケアで役立つコーチング	北海道薬大 野呂瀬 崇彦
15:40～16:00 S07-6	プライマリ・ケアの地域住民啓発事業	北里大薬 飯塚 敏美

3月29日（月）13:00～15:00 C-I会場 コンベンションセンター 407会議室

一般シンポジウム S08

薬学生が社会を変える ―地域社会の活動を通して―

Contribution to the Community through the Social Activities by Pharmacy Students

オーガナイザー：白神 誠、亀井 美和子

13:00～13:05	オーガナイザー挨拶	日本大薬 白神 誠
13:05～13:30 S08-1	キャンパスを出た「小学生に対するくすり教育と環境教育」 ―ヒューマニズム精神の具現化に向けて―	東京薬大 宮本 法子
13:30～13:55 S08-2	共に育ちあうボランティア活動のすすめ	社会教育協会ひの社会教育セ 中能 孝則

13:55～14:20 S08-3	社会薬学の活動を通して—大学と地域社会の循環—	慶應大薬 福島 紀子
14:20～14:45 S08-4	介護老人保健施設での薬学生の活動について—受け入れ施設の立場から—	福祉プラザさくら川 関 由美子
14:45～15:00	総合討論	

3月29日（月）15:00～17:00 C-I会場 コンベンションセンター 407会議室

一般シンポジウム S09

社会で学んだ薬学出身者の「生きる力」—6年制への提言

Survival Ability of Pharmacy Graduate Learned in the Society — Proposals for 6 yr Education

オーガナイザー：中込 啓一

15:00～15:05	オーガナイザー挨拶	武蔵野大薬 中込 啓一
15:05～15:20 S09-1	多様性から学ぶこと	資生堂 山崎 まさ子
15:20～15:35 S09-2	幼年期体験と職業	千葉薬品 松島 誠
15:35～15:50 S09-3	就職と新人教育	千葉西総合病院 高橋 智
15:50～16:05 S09-4	一人ぐらしから現在まで学び続けていること	日本調剤 三成 亮
16:05～16:20 S09-5	MBA志向の薬剤師を！	ACRONET 中森 省吾
16:20～16:35 S09-6	与えられたチャンスにどう応えるか？	ファイザー 清村 千鶴
16:35～17:00	討論と総括	

3月29日（月）13:00～15:00 C-L会場 グランヴィア4F フェニックススイート

一般シンポジウム S10

異分野技術の融合による次世代の医療基盤技術の構築に向けて

Establishment of Novel Therapeutic Technologies by the Fusion of Medical Technologies in Various Fields

オーガナイザー：鈴木 亮、中村 浩之

13:00～13:05	オーガナイザー挨拶	帝京大薬 鈴木 亮
13:05～13:20 S10-1	超音波感受性リボソームを利用した超音波がん治療システムの開発	帝京大薬 鈴木 亮

13:20～13:37 S10-2	微小気泡とパルス超音波を用いるソノポレーションにおける標的気泡の有用性	北大院情報科学	工藤 信樹
13:37～13:54 S10-3	光線力学治療のための光増感剤内包高分子ミセルの開発	東大院医	西山 伸宏
13:54～14:11 S10-4	金ナノロッドと近赤外光を用いた診断・治療システム	九大院工	新留 琢郎
14:11～14:28 S10-5	DCE-MRIを用いたTGF-β阻害剤併用時の微粒子製剤の腫瘍移行性評価	星薬大	川野 久美
14:28～14:45 S10-6	がんのRNA干渉治療を目的とした全身投与型siRNAベクターの開発	静岡県大薬	浅井 知浩
14:45～15:00 S10-7	ホウ素の中性子捕捉反応を利用した低侵襲細胞選択的放射線療法	学習院大理	中村 浩之

3月30日（火）9:00～11:30 C-A会場 コンベンションセンター コンベンションホール東

一般シンポジウムS11

医薬品のライフ・サイクル・マネージメント（LCM）は、真に患者・医療に貢献できるか？

Is the Life Cycle Management of Medicine Is Really Useful for Quality of Life in Patients?

オーガナイザー：内田 享弘、並木 徳之

9:00～9:05	シンポジウム趣旨説明	武庫川女大薬 静岡県大薬	内田 享弘 並木 徳之
9:05～9:25 S11-1	LCM戦略としての付加価値型製剤の開発	アステラス製薬製剤研	渡辺 俊典
9:25～9:45 S11-2	医薬品のライフサイクルマネージメント	第一三共	菊池 正彦
9:45～10:00 S11-3	経口製剤比較に見るLCMとその利点	武庫川女大薬	内田 享弘
10:00～10:20 S11-4	医療現場における医薬品適正使用とLCM ～PK/PD・医薬品情報・品質・医療経済等の問題点～	福井大病院薬	政田 幹夫
10:20～10:40 S11-5	注射剤適正使用から見たLCM：医療現場から	岡山大病院薬	千堂 年昭
10:40～11:00 S11-6	医療で望まれる次世代型のLCM製剤	静岡県大薬	並木 徳之
11:00～11:20 S11-7	LCMと医療経済	慶應大院経営管理	中村 洋
11:20～11:30	全体討論・総括	静岡県大薬 武庫川女大薬	並木 徳之 内田 享弘

---

3月30日（火）9:00～11:30 C-B会場 コンベンションセンター コンベンションホール西

一般シンポジウム S12

計量薬学—信頼と保証を科学する—

Pharmacometrics — The Gate to Inspire Confidence and Guarantee of Pharmaceuticals

オーガナイザー：山下 富義、高木 達也

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

京大院薬 山下 富義

9:05～9:33

S12-1

構造活性相関法に基づく in silico 薬物動態予測

京大院薬 山下 富義

9:33～10:01

S12-2

計量薬学的手法による製剤処方最適化

星薬大 高山 幸三

10:01～10:29

S12-3

ケモメトリックスによる製剤特性の非破壊計測と品質評価

武蔵野大薬 大塚 誠

10:29～10:57

S12-4

PK/PD理論に基づいた抗菌剤のリアルタイム投与設計

広島大院医歯薬 森川 則文

10:57～11:25

S12-5

多変量解析法を用いた疾患・副作用の診断、予後予測支援

阪大院薬 高木 達也

11:25～11:30

総括

阪大院薬 高木 達也

---

3月30日（火）9:00～11:50 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

一般シンポジウム S13

重篤副作用を回避するためのファーマコゲノミクス研究

Pharmacogenomics Study to Avoid Serious Drug Adverse Reactions

オーガナイザー：岩崎 甫、長谷川 隆一

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

国立衛研 長谷川 隆一

9:05～9:30

S13-1

抗がん剤の副作用回避のためのPGx研究

国立衛研 斎藤 嘉朗

9:30～9:55

S13-2

イリノテカンに関するPGx研究の動向と臨床

第一三共学術調査部 平田 浩司

9:55～10:20

S13-3

スタチンによる横紋筋融解症と遺伝子マーカー

千葉大院薬 千葉 寛

10:20～10:25

休息

10:25～10:50 S13-4	重症薬疹の発症と関連するバイオマーカーの探索研究	国立衛研 鹿庭 なほ子
10:50～11:15 S13-5	臨床ゲノム研究の現状とPGxのガイドラインの整備	理研 鎌谷 直之
11:15～11:40 S13-6	医薬品安全対策におけるPGx・バイオマーカーの役割と規制当局の立場	医薬品医療機器総合機構 石黒 昭博
11:40～11:50	追加紹介及び総括	国立衛研 長谷川 隆一

3月30日（火）9:00～12:00 C-H会場 コンベンションセンター 405会議室

一般シンポジウム S14

医薬品安全性確保に向けての市販後大規模副作用症例データの活用

— 向精神薬の適正使用と安全性情報 —

Utilization of Large-scale Postmarketing Adverse Event Data for Pharmacovigilance

— Ratioanl Use and Safety Information of Psychotropic Drugs —

オーガナイザー：森川 馨、長嶺 敬彦

9:00～9:10	はじめに	国立衛研安全情報部 森川 馨
9:10～9:45 S14-1	有効性と安全性を踏まえた精神科薬物療法：エビデンスと臨床をつなぐ鍵は何か	京大院医 岡田 俊
9:45～10:15 S14-2	大規模副作用症例データベース AERS を用いた向精神薬の安全性情報の解析	国立衛研安全情報部 森川 馨
10:15～10:40 S14-3	海外規制機関からの向精神薬に関する安全性情報	国立衛研安全情報部 天沼 喜美子
10:40～11:05 S14-4	Evaluating Drug Safety in Patients with Alzheimer's Diseases	エーザイ Stewart GEARY
11:05～11:30 S14-5	薬学と臨床薬学の立場からの向精神薬の安全性について	東邦大薬 吉尾 隆
11:30～12:00 S14-6	抗精神病薬を安全に使用する工夫 — AERS で検出された抗精神病薬の副作用シグナルからの考察 —	吉南病院内科 長嶺 敬彦

---

3月30日（火）9:00～12:00 C-J会場 グランヴィア4F フェニックスウェスト

一般シンポジウム S15

糖尿病治療に挑む新しい薬剤開発

—「教育・臨床現場の声」と「天然物・有機・無機化合物」からのアプローチ—

Challenging the Development of New Anti-diabetic Medicines by Using Approaches from Educational, Clinical, and Research Fields

オーガナイザー：吉川 豊、安達 祐介

---

9:00～9:10

オーガナイザー挨拶・趣旨説明

京都薬大 吉川 豊  
味の素 安達 祐介

9:10～9:40

S15-1

学んで繋げる糖尿病の基礎知識—教育現場からのアプローチ—

医学アカデミー・薬学ゼミナール 村上 理

9:40～10:10

S15-2

糖尿病およびその治療法の現況—病院薬剤師の視点より—

倉敷成人病セ薬 原田 七穂

10:10～10:20

休憩

10:20～10:50

S15-3

薬用食品から抗糖尿病作用成分の開拓に挑む

京都薬大 中村 誠宏

10:50～11:20

S15-4

レチノイドX受容体を標的に単剤1型2型糖尿病治療薬候補化合物創製に挑む

岡山大院医歯薬 加来田 博貴

11:20～11:50

S15-5

糖尿病克服を目指した新規亜鉛錯体の開発研究に挑む

京都薬大 吉川 豊

11:50～12:00

総括

---

3月30日（火）9:00～12:00 C-K会場 グランヴィア4F フェニックスサウス

一般シンポジウム S16

6年制薬剤師が求める・求められる薬業界の現状と展望

Current State and View of Pharmaceutical and Medicine Industry that 6 Year-educated Pharmacists Request and Are Requested

オーガナイザー：荒牧 弘範、鹿志毛 信広

---

9:00～9:10

オーガナイザー挨拶

第一薬大 荒牧 弘範

9:10～9:40

S16-1

6年制薬剤師への期待—薬学部と薬剤部で教育を担当する立場から—

福岡大薬／福岡大筑紫病院薬 神村 英利

9:40～10:10

S16-2

「6年制薬学部生の就職」と「キャリアデザイン」

武蔵野大薬 中込 啓一

10:10～10:40 S16-3	社会が求める6年制薬剤師とその展望	日本薬剤師会 児玉 孝
10:40～10:50	休憩	
10:50～11:20 S16-4	セルフメディケーション時代を担う薬剤師とその育成	日本チェーンドラッグストア協会 小田 兵馬
11:20～11:50 S16-5	製薬企業における人材育成	ノバルティス ファーマ 石川 裕子
11:50～12:00	総括	福岡大薬 鹿志毛 信広

3月30日（火）9:00～11:50 C-L会場 グランヴィア4F フェニックススイースト

一般シンポジウム S17

“共に学び、共に育つ” 実務実習の実現に向けて

Learning Together, Teaching Together: Making Experiential Pharmacy Practice a Success

オーガナイザー：望月 正隆、須田 晃治、山元 弘、吉富 博則

9:00～9:05	オーガナイザー主旨説明	薬学教育協議会 須田 晃治
9:05～9:15 S17-1	六年制薬学教育における実務実習への期待と課題	文科省 吉田 博之
9:15～9:35 S17-2	実務実習の実現に向けての現状と展望	薬学教育協議会 望月 正隆
9:35～9:55 S17-3	実務実習事前学習の計画から実施へ	昭和大薬 山元 俊憲
9:55～10:05	総合討論－1	
10:05～10:25 S17-4	大学と実習施設との連携体制	慶應大薬 木津 純子
10:25～10:40 S17-5	「薬学教育実務実習指導の参考指針」概要	昭和大薬 中村 明弘
10:40～10:55 S17-6	薬局実習の準備状況	日本薬剤師会 森 昌平
10:55～11:10 S17-7	病院実習の準備状況	日本病院薬剤師会 幸田 幸直
11:10～11:30	総合討論－2	

11:30～11:40 S17-8	新たな薬剤師誕生への期待	厚労省 山本 史
11:40～11:50	総括	薬学教育協議会 須田 晃治

3月30日（火）13:30～16:30 C-A会場 コンベンションセンター コンベンションホール東

一般シンポジウム S18

ナノマテリアルの安全確保に向けたNanoTox研究の最前線  
Recent Topics of NanoTox Studies for Their Safety

オーガナイザー：堤 康央、吉岡 靖雄

13:30～13:35 S18-1	ナノマテリアルの安全確保に向けたNanoTox研究の最前線（Overview）	阪大院薬 堤 康央
13:35～14:15 S18-2	ナノマテリアルの慢性影響	国立衛研 広瀬 明彦
14:15～14:35 S18-3	ナノマテリアルの経皮吸収性・体内動態と急性毒性・肝毒性	医薬基盤研 角田 慎一
14:35～14:55 S18-4	ナノマテリアルの相互作用解析と急性毒性・肝毒性機構の追求	阪大院薬 吉川 友章
14:55～15:10 S18-5	ナノマテリアルの細胞内動態と遺伝毒性	医薬基盤研 阿部 康弘
15:10～15:30 S18-6	ナノマテリアルの動態特性と免疫毒性	阪大MEIセ 吉岡 靖雄
15:30～15:45 S18-7	ナノマテリアルの動態特性と生殖発生毒性	医薬基盤研 長野 一也
15:45～16:25 S18-8	ナノマテリアルの次世代健康影響—妊娠期曝露は子に重大な影響を及ぼす	東京理大薬 武田 健
16:25～16:30	ナノマテリアルの安全確保に向けたNanoTox研究の最前線（総括）	阪大MEIセ 吉岡 靖雄

3月30日（火）13:30～16:30 C-B会場 コンベンションセンター コンベンションホール西

一般シンポジウム S19

生理活性タンパク質による治療最適化を指向した遺伝子・細胞製剤の開発  
Development of Cellular and Gene Therapy Products for Bioactive Protein-based Therapy

オーガナイザー：櫻井 文教、西川 元也

13:30～13:35	シンポジウム趣旨説明	京大院薬 西川 元也
-------------	------------	------------

13:35～14:05 S19-1	バブルリポソームと超音波技術を融合した筋組織への遺伝子導入システムの開発 東京薬大薬 根岸 洋一
14:05～14:35 S19-2	マイクロRNAによる遺伝子発現制御システムを搭載した組換えアデノウイルスの開発 医薬基盤研 櫻井 文教
14:35～15:00 S19-3	発現タンパク質の時空間制御による遺伝子治療効果の最適化 京大院薬 西川 元也
15:00～15:30 S19-4	ベクター産生型骨髄間質細胞を利用した遺伝子治療 国立精神・神経セ 岡田 尚巳
15:30～16:00 S19-5	がん細胞免疫療法の治療成績向上のための要素技術開発： 樹状細胞体外大量増幅技術開発とセンダイウイルスによる免疫刺激療法 九大院薬 米満 吉和
16:00～16:30 S19-6	iPS細胞への遺伝子導入を用いた分化誘導の最適化 医薬基盤研 川端 健二

3月30日（火） 13:30～15:30 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

一般シンポジウム S20

ファーマコゲノミクスに安心と安全を ～薬剤師がファーマコゲノミクスの担い手となり得るか～  
Relief and Safety to Pharmacogenomics. ～ Can a Pharmacist Take the Responsibility for Management of  
Pharmacogenomics? ～

オーガナイザー：名倉 弘哲、川村 和美

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶 岡山大薬 名倉 弘哲
13:35～13:55 S20-1	日本人乳癌患者におけるタモキシフェンの再発予防効果に及ぼす CYP2D6及びABCC2遺伝子多型の影響 理研ゲノム医科学研究セ 筵田 泰誠
13:55～14:15 S20-2	薬物治療において遺伝情報を適切に利用するための課題 ー今、臨床の現場で起こりつつあることー 日本医大病院ゲノム先端医療 渡邊 淳
14:15～14:35 S20-3	消費者直販型薬理遺伝学的検査の倫理的法的社会的課題 東大医科研 武藤 香織
14:35～14:55 S20-4	「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」と個人遺伝情報の保護 エスアールエル 堤 正好
14:55～15:15 S20-5	ファーマコゲノミクスにおける薬剤師の役割と倫理教育の必要性 スギメディカル 川村 和美
15:15～15:30	パネルディスカッション、総括

---

3月30日 (火) 15:30~17:30 C-F会場 コンベンションセンター 301会議室

一般シンポジウム S21

リソソーム病に対する「ウルトラ・オーファンドラッグ」開発研究の展開

Recent Development of “Ultra-Orphan Drug” Research for Lysosomal Storage Diseases

オーガナイザー：伊藤 孝司、櫻庭 均

---

15:30～15:35

オーガナイザー挨拶

徳島大院薬医薬創製教育研セ 伊藤 孝司

15:35～15:55

S21-1

分子設計による新規ファブリー病酵素補充療法の開発

明治薬大 櫻庭 均

15:55～16:15

S21-2

糖鎖改変技術を活用したマンノースー6-リン酸型リソソーム酵素の生産

産総研糖鎖医セ 千葉 靖典

16:15～16:35

S21-3

ムコ多糖症の酵素補充療法

国立成育医療セ 奥山 虎之

16:35～16:40

休憩

16:40～17:00

S21-4

ファブリー病の新規マーカーとしての血漿中 lyso-Gb3 の測定

明治薬大 兎川 忠靖

17:00～17:20

S21-5

神経症状を伴うリソソーム病モデルに対する改変型組換えヒト酵素の脳室内補充効果

徳島大院薬医薬創製教育研セ 伊藤 孝司

17:20～17:30

総括

明治薬大 櫻庭 均

---

3月30日 (火) 13:30~16:30 C-J会場 グランヴィア4F フェニックスウェスト

一般シンポジウム S22

アルツハイマー病の発症機構と治療薬・診断法の開発戦略

Pathogenic Mechanism, Diagnosis and Therapy of Alzheimer's Disease:

Current Understanding and Perspective

オーガナイザー：岩田 修永、鈴木 利治

---

13:30～13:35

オーガナイザー挨拶

理研 岩田 修永

13:35～14:08

S22-1

脳内 APP 代謝における X11-like/X11L の機能

北大院薬 齋藤 有紀

14:08～14:41

S22-2

$\beta$ ・ $\gamma$ セクレターゼ活性制御によるアルツハイマー病治療

東大院薬 富田 泰輔

14:41～15:14

S22-3

A $\beta$ 代謝メカニズムの解析と新規治療標的の同定

理研 岩田 修永

15:14～15:47 S22-4	脳関門を介したA $\beta$ 排出の分子機構	東北大院薬 大槻 純男
15:47～16:20 S22-5	認知症のバイオマーカー：髄液特異的な糖タンパク質	福島医大医 城谷 圭朗
16:20～16:30	総合討論	

3月30日（火）13:30～15:05 C-K会場 グランヴィア4F フェニックスサウス

一般シンポジウム S23

6年制におけるコミュニケーション教育の現状と展望

The Present and Future of Communication Studies in the Six-year System

オーガナイザー：井手口 直子、後藤 恵子

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	
13:35～13:50 S23-1	コミュニケーション教育の現状、全国大学調査報告と考察	日本大薬 井手口 直子
13:50～14:05 S23-2	コミュニケーション教育の位置づけと連携	日本大薬 井手口 直子
14:05～14:20 S23-3	効果的なコミュニケーション教育のための方略と関わりについて ワークショップの報告から	北里大薬学教育研究セ 有田 悦子
14:20～14:35 S23-4	コミュニケーション教育の評価について、医療系大学の事例から	東京理大薬 後藤 恵子
14:35～14:50 S23-5	6年制薬学教育におけるコミュニケーション教育に必要な質的アプローチと教育的知見	東京医歯大教養 中村 千賀子
14:50～15:05	総合討論：今後のコミュニケーション教育	名大院教育発達科学 大谷 尚

3月30日（火）13:30～15:30 C-C会場 コンベンションセンター レセプションホール

一般シンポジウム S24

薬学新時代の大学院教育

Education of Graduate School of Pharmaceutical Sciences in New Generation

オーガナイザー：平澤 典保、奥 直人

13:30～13:50 S24-1	6年制の大学院教育：東北大学の試み	東北大院薬 富岡 佳久
13:50～14:10 S24-2	グローバル化時代の大学院教育	東大院薬 入村 達郎

















































